【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公表番号】特表2011-518619(P2011-518619A)
【公表日】平成23年6月30日(2011.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2011-026
【出願番号】特願2011-506464(P2011-506464)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｌ　15/58　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　41/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/722　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｌ　15/06
Ａ６１Ｐ　41/00
Ａ６１Ｐ　27/16
Ａ６１Ｐ　11/02
Ａ６１Ｐ　11/04
Ａ６１Ｋ　31/722

【手続補正書】
【提出日】平成24年4月5日(2012.4.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
耳、鼻、または喉の粘膜組織を保護するための二成分を含む医薬組成物であって、第1の成分はチオール化キトサンを含み、そして第2の成分は十分な酸化剤または外部架橋剤を含み、それにより二成分が混合されそして粘膜組織上にコーティングされる場合に、混合物が30分未満で保護ゲル層を形成する、前記二成分を含む医薬組成物。
【請求項２】
第1の成分および第2の成分はそれぞれ、複数バレルシリンジのバレル中にパッケージングされる、請求項1に記載される医薬組成物。
【請求項３】
第1の成分が自由流動性の乾燥粒子である、請求項1または2に記載される医薬組成物。
【請求項４】
第1の成分および第2の成分がそれぞれ水溶液である、請求項1～3のいずれかに記載される医薬組成物。
【請求項５】
第2の成分が過酸化水素またはゲニピンを含有する、請求項1～4のいずれかに記載される医薬組成物。
【請求項６】
2つの成分を混合する場合、ゲル層が10分未満で形成される、請求項1～5のいずれかに記載される医薬組成物。

【請求項７】
2つの成分を混合する場合、ゲル層が5分未満で形成される、請求項1～5のいずれかに記載される医薬組成物。
【請求項８】
組成物を、鼻腔、副鼻腔、中耳または内耳に対して適用する、請求項1～5のいずれかに記載される医薬組成物。
【請求項９】
組成物を、スプレー塗布、洗浄（lavage）、ミスト、モッピング、ウィッキング、またはドリッピングにより適用する、請求項1～5に記載される医薬組成物。
【請求項１０】
チオール化キトサンと十分な酸化剤または外部架橋剤とを含み、それにより保護ゲル層がin situで30分未満で形成される、耳、鼻、または喉の粘膜組織上の流体層。
【請求項１１】
過酸化水素またはゲニピンを含有する、請求項10に記載される流体層。
【請求項１２】
1～20 wt.％のチオール化キトサンと0.01～1 wt.％の酸化剤を含有する、請求項10に記載される流体層。
【請求項１３】
1～20 wt.％のチオール化キトサンと0.1～10 wt.％の外部架橋剤を含有する、請求項10に記載される流体層。